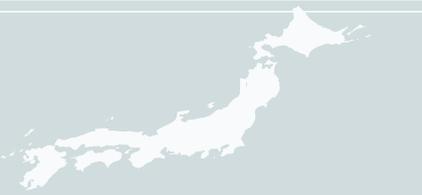


# 各県トピックス



各県トピックス

## 山口県遊技協傘下ホールが 家出児童を保護

山口県遊技協同組合傘下ホールのP・ZAC(下松市)のスタッフが、ホール内にいた家出児童を早期発見し警察に通報し保護につなげた。

2022年12月21日(木)午後8時頃、同店ホールスタッフ女性が10歳くらいのパジャマ姿の男児が同店内にいたところを発見した。すかさず積極的に男児に声をかけたところ、「親とけんかをして家に帰りたいくない。トイレを貸してほしい」という返答があったことから、他のホールスタッフに連絡して警察に通報し、早期保護につなげた。

なお、児童の保護者は、当日、児童の家出を警察に届け出ており、捜索最中の通報により早期発見につながった。当日は寒波の影響で気温が非常に低いうえ、防寒対策をとっていない服装であったことから、早期発見につながらなければ最悪の事態になる可能性も

あった。

山口県遊技協では本事案を傘下組合員に共有するとともに、子どもの車内放置事故防止対策も含め、引き続き駐車場等の確実な巡回点検の徹底について指示した。

全日遊連では、本事案の報告を受理し、同店スタッフに対し2023年1月5日付で感謝状を発行した。



※注 風営法第22条(禁止行為等第1項第5号)において18歳未満の者を営業所に客として立ち入らせることが禁止されているが、今回のケースや大規模災害時の避難のように、明らかに遊技目的ではない(「客」ではない)18歳未満の者が来店しても違法行為とはならない。

## 「第18回社会貢献大賞」の募集について

「第18回社会貢献大賞」は、昨年と同様、全日遊連傘下の都府県方面組合・支部組合・組合員ホールが主催・共催となった社会貢献事業(2022年1月から12月までの1年間に実施を顕彰します。

2月24日(金)迄の応募締切日までに、積極的なご応募をお願いします。2022年から永年活動顕彰を新設します。20年間以上継続した事業に「永年活動顕彰」、30年間以上続けた事業に「特別永年活動顕彰」を授与します。なお、2023年からは20年・30年の節目の事業に授与することとしました。顕彰団体は2023年7月20日(木)開催の社会貢献大賞表彰式で団体名・活動内容を紹介し、賞状は都府県方面組合から授与していただきます。

審査は、3月23日(木)の「2022年度第5回常任幹事会」で第1次審査を行い、4月12日(水)開催の「社会貢献活動審査委員会」(審査委員長宮田亮平代表理事)で決定します。

## 2022年 社会貢献・社会還元の実施状況調査について

毎年調査を行っています。2022年社会貢献・社会還元の実施状況調査は、遊技業界における社会貢献への積極的な取り組みを広く社会に認知していただくための貴重な調査です。全日遊連傘下の都府県方面組合・支部組合・組合員ホールが、2022年1月から12月までの1年間に実施した

## 「第18回社会貢献大賞」の募集について

社会貢献活動・社会還元金を取りまとめます。その結果を、全日遊連機関誌「遊報」と「POSSC's 2022 社会貢献活動年間報告書」で報告します。全国の都府県方面組合から報告されたデータの集計と分析作業は、機構事務局で実施しておりますので、2月24日(金)までに報告をお願いします。

## 2022年度助成事業活動報告「依存問題についての理解を広めるフォーラムin茨城」

2022年度助成事業である「依存問題についての理解を広めるフォーラムin茨城」事業が、12月10日に茨城県水戸市で開催されました。この事業は、「依存問題について理解を広めるフォーラム」実行委員会が主催し、医療関係者などによるパネルディスカッションがあり、依存問題を抱えている当事者や家族への支援体制などについて議論しました。

そのほか、茨城県精神保健福祉センター・佐々木恵美センター長が「依存症について」を基調講演し、茨城県遊技協同組合から遊技業界の依存問題への取り組みを紹介しました。この助成事業の模様は、12月11日茨城新聞に掲載されました。



「依存問題についての理解を広めるフォーラムin茨城」の模様

2023年1月6日